

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第297号 平成19年 4月



学校教育学部学位記授与式
(関連記事 6, 10 ページ)



大学院学校教育研究科
学位記授与式
(関連記事 2, 9 ページ)



大学院学校教育研究科 (夜間クラス) 学位記授与式
(関連記事 4, 9 ページ)

目 次

- ◇平成18年度学位記授与式における修了生・卒業生の謝辞……………2
- ◇平成18年度大学院連合学校教育学研究科学位記授与……………8
- ◇学 事……………9
 - ・平成18年度大学院学校教育研究科学位記授与者数等
 - ・平成18年度学校教育学部卒業証書・学位記授与者数等
 - ・平成18年度附属学校園の卒業(修了)者数
 - ・平成19年度大学院学校教育研究科(修士課程)第2次募集入学者選抜試験
 - ・平成19年度学校教育学部入学者選抜試験
- ◇人 事……………12
 - ・人事異動
- ◇諸 報……………17
 - ・国立大学法人兵庫教育大学役員会

- ・国立大学法人兵庫教育大学経営協議会
- ・国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
- ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授会
- ・兵庫教育大学学校教育学部教授会
- ・連合学校教育学研究科教授会
- ・小学校英語活動地域サポート事業フォーラム「小学校と連携した英語活動の教員研修のあり方ー各学校の特性を活かしてー」の開催
- ・学校教育研究センタープロジェクト研究発表会及び特別講演会の開催
- ・平成18年度学生表彰受賞者
- ・退職時の兵庫教育大学永年勤続者等の表彰
- ・兵庫教育大学神戸サテライトの移転
- ・兵庫教育大学教育実践コラボレーションセンターの設置
- ◇平成19年度公開講座の案内……………21
- ◇主要日誌……………23

— 謝 辞 —

大学院学校教育研究科修了生代表
学校教育専攻教育コミュニケーションコース
大 向 勲



記録的な暖冬の影響でしょう、各地では桜も花開き始め、ここ嬉野の地の春の訪れも例年より幾分早いような気がいたします。

本日は私たちのためにこのような盛大な学位授与式を挙げていただきまして誠にありがとうございます。また、ただ今は、梶田毅一学長より心のこもったお言葉をいただきありがとうございます。修了生一同、心より厚く御礼申し上げます。

「諸君はなぜ大学院へ進もうとしたのか？そこで何を得たいと思ったのか？」

入学してまもなく行われた、コースのオリエンテーションで私たちにこう語りかけた先生がいらっしゃいました。

私はそのとき即答できない自分に気づきました。もしそこで何かを語れと言われれば、何かしら話せたとは思いますが。しかしそれは独りよがり、うわべだけの、その場しのぎのことばでしかなかったでしょう。

そもそも私は、これといった研究領域があったわけではありません。ただ肌で実感する子どもの変化、保護者の変化、そして教育の変化に危機感を持ち、漠然と「なんとかしなければ」と思ったのが入学のきっかけです。

ですから私は問い直しました。自分自身を見つめ直しました。所詮私が語れることと言えば、小学校現場に勤めて十六年、教育に本気で向き合う中で、培ってきた実践しかないのです。そして自らの実践を振り返り、多忙極まりない現場ではなかなか学ぶことのできなかった専門的な知を得るなかで、私は二年間、いえこれからの教員生活をかけても取り組みたいと思えるものと出会いました。それは「授業リフレクション」です。

自らの実践を振り返ったとき、やはり「授業」をフィールドに研究に取り組んでいこうと考えていました。まずは授業を「見よう」と思い、現場ではなかなかできなかった各地で開催される授業研究会に、講義の合間をぬって、積極的に参加しはじめました。

そんな時、講義で知ったのが「授業リフレクション」だったのです。そのときの胸の高鳴りは今でも覚えています。

目指すものを見つけたそれからの私は無我夢中でした。

日々の講義や演習を通じては、たくさんの先生方から、学問や研究の奥深さを学ばせていただきました。それぞれの先生方の専門領域に違いはあれど、経験や感性にのみ頼って実践を行ってきた私にとっては、そのどれもから大きな示唆をいただきました。そしてそれは自らの研究を進めていく上で重要なものでもありました。

また、「今できること」「動けば変わる」をモットーに学外での研究会や講演会にも積極的に参加しました。「授業リフレクション」についても学ばせていただく機会を得ることができたのはこの上ない財産となりました。

こうして大学院生活というかけがえのない二年間を与えていただいたおかげで、私ははじめて学ぶ楽しさを感じたように思います。ですから修士論文執筆に際しても、分析の方法に行き詰まっても、本当に最後まで書き上げることができるのかと不安になっても、苦しいだとか辛いだとかは一度も思ったことはありませんでした。

何よりそう思えたのは、この大学院に入学したからこそ、出会わせていただいた、たくさんの方々からの支えがあったからにちがいありません。私自身も「縁」を大事に、「分かり合う、分かち合う」ためにもまずは「わかりたい」と思い、向き合うよう努めてまいりました。ここで出会わせていただいた「縁」は、大学院を修了して終わりではなく、はじまりだと思ひ、これからも大事にしていきたいと思っております。

私たち修士は、あと一週間余りで、それぞれの学校現場で、また新しい世界で新たな第一歩を踏み出します。不安がないと言えようそになるでしょう。むしろ不安のほうが大きいかもしれません。しかし、この貴重な二年間で得たものは必ずや生かしていけると信じております。いえ必ず生かしていきます。

ここに無事、学位授与式を迎えることができましたのも、梶田勲一学長をはじめとする諸先生方、さまざまな形で支えていただいた来賓各位、ならびに事務職員の方々のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。あわせて今後の一層のご指導を賜りますようによろしく申し上げますとともに、兵庫教育大学のますますのご発展をご祈念申し上げ、謝辞といたします。



— 謝 辞 —

大学院学校教育研究科修士課程(夜間クラス)修了生代表
教科・領域専攻言語系コース

神 野 佳 代 子



さまさまの事 おもひ出す 桜かな

漂泊の俳人松尾芭蕉の四十五歳のときの句だといいます。

一足早く開花した桜が、冬と春を繋ぐ架け橋のような枝先で小さく震えています。夜桜の中を、このサテライトに通い始めた日のことを、ついこの間のことのように思い出します。

そんな思い出多い春、そんな思い出多い桜の季節に、このように盛大な学位授与式を挙げていただき、兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了の学位を授与していただきました。誠にありがとうございます。また、ただいまは学長先生よりあたたかい励ましの言葉をいただき、夜間クラス修了生一同、限りない感謝の気持ちとともに旅立ちの決意を新たにしているところです。

さまさまの事 おもひ出す 桜かな

二十年振りに故郷伊賀上野に帰った芭蕉を迎えたのは、元の主であった藤堂良忠の遺子良長でありました。俳号を探丸(たんまる)という良長は、芭蕉のこの句に「春の日永う筆にくれ行(ゆく)」と付け加えたといっています。

確かにさまさまな思いを生じさせる春の日ですが、決して長く永遠に続くものではありません。同様に二年間、あるいは三年間、サテライトで過ごした私たちも、また新しい季節に向かっての一步を踏み出そうとしています。慈愛の中で研究を支え、指導して下さった先生方の姿を心に刻み、この兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程の一員であったことを誇りにしながら、新たな人生の一ページを確実に書き綴っていこうと思います。

私にとっての指導教員の先生は、単に研究の指導者であるというだけでなく、人生における師匠でもありました。その師匠が折りに触れて私に語って下さった数々の言葉があります。

「『自分なりに頑張る』という言葉がある。しかし、自分なりに頑張ったところでせいぜいが能力の七、八割でしかない。そんなことをしているから実現できることが限られるのだ。力を込めて、力を尽くして、自分では不可能と思えるほどの二〇〇パーセントの努力をすること。それで、やっと七、八割のことが実現できるようになる。」

この大学院に来て、「一生を通じて学び続ける教師の姿」を見ることが出来ました。その凄烈で衝撃的な数多くの姿から、学び取る多くのことがありました。ある意味、「教師たるもの、いかに生きるべきか」を学べた貴重な所でした。

「ゴールが見えたときに手を抜く人間は、決して成長しない。辿り着く最後の最後まで気を緩めず、手を抜かず、やり遂げること。それが完璧に事を成すということだ。」

現場での慌ただしい日々が紛れて、見失っているものがありました。それは、何かを成し遂げる上での美学のようなものであったのかも知れません。こだわりをもって事に当たる、こだわりをもって子どもたちに対峙する。成し遂げることへの目覚めを感じた瞬間でした。

「自分がやって欲しいと思うこと、やってもらって嬉しかったことを、人に対して同じようにやろう。されて嫌だと思ったことは、絶対に人にしてはならない。」

同学年の仲間も少なく、サテライトで戸惑う私たちを気遣い、様々に対応して下さった事務職員の方々は、まさにこの言葉の具現化でありました。学問や研究というものに邁進することが出来たのは、事務職員の方々の「人を大切にして対応する」という姿勢でした。

まさしく、「さまざまな事 思い出す」サテライトでの生活でした。

勤務の終了とともに快く送り出して下さった校長、教頭を始めとした数多くの職場の仲間感謝いたします。職場に新しい一陣の風でも吹き込むことができれば、ささやかな恩返しになるのではと考えています。

暗闇の中でくぐり抜ける高速道路のゲートで、「大変やねえ」とねぎらいの笑顔を投げかけて下さった方々に感謝申し上げます。もう、同じ時間帯にお会いすることはないでしょうが、「同じ時間に頑張っている人がいる」という心強さを感じました。

課題提出に追われて右往左往している私に対し、「大丈夫！大丈夫！」と声を掛け、励まし支えてくれた仲間たち。学び合うことの楽しさ、仲間がいることの喜びを感じる時間がありました。

我が師匠は、こうも話されました。

「十年後、よく頑張ったと言える今の取り組みでありたい。そして十年後、まだまだ青く未熟だったと振り返れる以降の成長でありたい」という言葉でした。

私自身、未熟ではありましたが長期履修生としての三年間を頑張り抜いたつもりです。しかし、これは終着点としてのゴールではなく、新たな出発点でもあります。「こんなことでは終わらない」「まだまだ頑張れるはず」そんな意欲をもって、師匠が言われたような「十年後、まだまだ青く未熟だったと振り返れる以降の成長でありたい」と決意しています。私たちの歩みは始まったばかり、これからが真価を問われる日々なのです。

桜の名所である吉野には、薄紅の桜の花びらの色に染められた和紙があります。「桜の花が咲く時は、桜の樹液がピンクに染まるから、花びらがあの美しい色になるんだ。桜の木は、一年に一度、花びらを染めるために、一生懸命エネルギーをためているんだ・・・」という言葉聞いたことがあります。一見華やかに見える薄紅色の和紙・・・その色を染め出す桜の人知れぬ営み。そんな桜の生き方を心に置きながら、私たちも美しい開花を求めて歩いて行こうと思います。

さまざまの事 おもひ出す 桜かな

未熟な私たちを見守り続けて下さった学長梶田叡一先生を始めとした諸先生方、事務職員の方々、ありがとうございました。そして・・・これからも、その優しさと厳しさに満ちた眼差しで私たちを見守り続けて下さい。

思い出はつきませんが、限りない感謝の気持ちと旅立ちの決意を述べ、簡単ですが謝辞に代えたいと思います。ありがとうございました。皆様、並びに兵庫教育大学の益々の御発展をお祈り申し上げます。



— 謝 辞 —

学校教育学部卒業生代表
教科・領域教育専修総合学習系コース
大 場 裕 太



構内から見える山並みの緑や、正門に並ぶ桜のつぼみに、冬が過ぎ、春が始まっていることを気づかされず。いかなる環境の下でも、生命を全うして生きる自然の力強さを感じる今日、私たちは四年間の学業を終え、卒業の時を迎えることができました。このよき日に来賓各位のご臨席のもと、このような盛大な学位記授与式を挙げていただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。また、数々のご祝辞を賜りましたことを重ねて御礼申し上げます。

思い起こせば四年前も、この春の力強さに後押しされて大学生生活を踏み出しました。大学生となること、教師を目指すことに胸を躍らせ、その後の四年間、社会に出る姿を思い描いて、人のつながりやモノの学び方を得ようと目の前の一つひとつに懸命に立ち向かっていたように思います。そのとき思い描いた未来像に今の自分はなっているだろうか、そう考えるとまだまだ甘さの残る未熟な自分であることに気づきます。それでも、何も分かってない青二才なりに、社会に出て必要なことを自分のものにしようとしてきました。挑戦したり、失敗したりするたび先の自分を描いていこうとする中で、確実に成長したこともあると感じています。

大学に入るまでは、自分のやりたいことに夢中になり、自分のことを考えるのに集中してきましたが、この四年間は自分が動くこと、考えること、生き方そのものが周囲に影響を与えることを学んできたように思います。特に四年間続けた部活動や実地教育では、仲間や子どもたちの中で、自分のあり方を考える視点を学びました。目指すチームになるためにできることを考えるようになり、そのために自分はどのような人であつたらいいのか、みんなにどう思われていたのか、それまでは考えたこともなかったことが見えてきました。自分から動くこと、示していくことを学び、見られる自分を知りました。

そんな自分をつくってきたのは、四年間の環境が大きかったと思います。学業や部活動に打ち込むために用意された周囲環境はもちろん、どんなときも見放すことなく指導していただいた先生方をはじめ、共に向き合ってきた友人、これまで出会ったみんなに感謝し、これからの力に変えていきたいです。

私たちは今日このときから、ひとりの社会人としての一步を踏み出します。私は春から教師として歩んでいきます。ますます、見られる人になるでしょう。今、教育は社会的な課題のひとつとして注目されています。教育現場の変革も行われていくでしょうが、時代が変化する中で「その時代に合ったもの」と「時代を超えて変わらないもの」があるように思います。目先のことだけに翻弄されず、人が社会で生きていくために何が必要とされているか探りながら、子どもたちと向かい合っていきたいと思います。

これまでの人生で培ったものが、社会の中でどれだけ通用するか、思い切ってぶつかって試し、さらに高めていきたいです。たとえ、何があっても逃げることなく、強い気持ちを持って、強い芯を持って、少しずつでも前進していきます。

最後になりましたが、学長先生をはじめ、本学でご指導ご鞭撻をいただきました諸先生方、職員の方々、後援会の方々、地元加東市の方々から感謝を申し上げます。そして、いつも温かく見守ってくださった、父さん、母さん、ありがとうございます。母校のますますの発展と在校生の皆さんの輝ける前途を願いつつ、私たち平成十八年度卒業生一同の旅立ちの言葉といたします。

— 謝 辞 —

大学院連合学校教育学研究科修了生代表
学校教育実践学専攻
寺 田 智 礼



朝方には霞も山にたなびき、春の温かな光につつまれ、桜花爛漫の季節を迎えようとしています。

穏やかな瀬戸内海と高波なる日本海に囲まれたこの社の地で、今日の良き日を迎えることができました。

多数の御来賓の皆様のお臨席のもと、このような盛大な学位記授与式を挙行していただきまして、私たち修了生及び学位取得者一同、心より厚く御礼申し上げます。

また、ただ今は学長先生ならびに構成大学ご代表の学長先生より、心温まる御祝辞をいただきまして御礼申し上げますとともに、あらためて所定の過程を修めた喜びと希望、そして責務の重さを心にかみしめているところであります。

兵庫県に生まれ、日本人で初めてエベレスト登頂を果たした世界を代表する冒険家植村直己先生は、夢に向かって懸ける心のあり方について、「人の生きる本当の価値は、お金や肩書きなどではなく、夢を追い求め、一瞬一瞬を精一杯生きることにある」と述べられております。また、今シーズンより大リーグに移籍した松坂大輔投手は、夢が実現した感想について、「かなわないのが夢。僕はずっと、ここで投げられることを信じて、目標にしてやってきた。だから、今、ここにいるのだと思います」と述べられております。

夢はかなわないことが多いのかも知れませんが、しかし、夢を持ち続け、良き師と巡り会い、達成可能な目標と信じてひたむきに努力すれば、夢は実現することができると、自分の体験からも確信することができました。

かえりみれば私たちは、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科に入学を許可され、よりよき教育のあり方について、先輩方の残された貴重な研究をもとに、私たち修了生及び学位取得者十八名はそれぞれの研究の視点に基づいて、教育実践と研究を融合させる学びの場を与えていただきました。以来、私たちは学位取得という共通の夢の実現に向かって、三カ年以上の月日を懸けて、指導教員の御指導のもと、たゆまぬ努力と精進を積み重ね、今日ここに、本研究科を修了し、博士の学位を授与していただくことになりました。この喜びの機会を得るに至るまで、学長先生、主指導教員をはじめとする多くの教員の親身なる御指導並びに御厚情をいただきました。また、研究者としての教養や倫理観を身につけたり、学生同士の士気を高め合うために、合宿形式による総合共通科目の履修、社会人をはじめとする多様な学生に門戸を開いてくださったフレックスタイム・カリキュラム制度による履修など、我が母校兵庫教育大学大学院は、教育改革の実践を私たちに示してくださっています。

今後、いかなる環境、状況に至りましても、兵庫教育大学大学院の先生方のもとで学んだことを心に刻み、教育現場に散見する課題を適切に掴み、社会の期待に応えられる教育実践学のさらなる確立を目指し、今後も精進していく覚悟でおります。博士の学位を取得したとはいえ、まだまだ未熟な私たちです。修了後におきましても、先生方の変わらぬ御指導をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、御臨席を賜りました御来賓の皆様、兵庫教育大学大学院の皆様、修了生並びに学位取得者の皆様、関係者の皆様のご健康とご多幸、さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。

最後になりますが、この場をお借り致しまして、感謝の意を申し上げます。

先生方、本日まで私たち修了生並びに学位取得者に熱心に御指導していただき、ありがとうございました。

今日、ここに、ともに学位を授与していただいた仲間、夢の実現に向かって、共に悩み、共に語り、共に励まし合ってくれた友に、ありがとうございました。以上、修了生代表の挨拶とさせていただきます。

— 平成18年度大学院連合学校教育学研究科学学位記授与 —

3月27日（火）講堂において、大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式を挙行し、18名に学位を授与した。なお、博士の学位が授与された者の氏名、学位論文名等は次のとおりである。

〔課程博士〕

| 氏名 | 学位の種類 | 授与年月日 | 論文題目 |
|-------|---------------|----------|---|
| 富久 國夫 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 教師の職能発達を促す校長の指導助言機能に関する実証的研究 －授業研究に焦点をあてた教授力量の形成への支援－ |
| 寺田 智礼 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | きょうだいが中学生の心理的支えと問題行動兆候に与える影響に関する教育臨床的研究 |
| 岡田 直美 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 中世勅撰集の研究 －歌群に紡がれる物語とそのゆくえ－ |
| 戸出 朋子 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | Frequency Effects in Classroom L2 Learning: The Learning of the English Primary Verb <i>Be</i> by Junior High School Students in Japan (教室内第2言語学習における頻度の効果:日本の中学生による英語be動詞の学習) |
| 松井 克行 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 普遍的価値を構造化する社会科・公民科のカリキュラムと単元の構成と開発 －Betty A. Reardonのグローバル教育論を手がかりとして－ |
| 米田 豊 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 戦前の社会認識教科目の授業構成理論と授業実践の展開 －小学校「地理」を中心にして－ |
| 寺田 光宏 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 理科教育における「ものづくり」の研究 |
| 三浦 忠士 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 学ぶということの意味とその成立の過程としての美術の行為に関する研究 |
| 加納 亜紀 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 幼児におけるテレビ・ビデオ視聴時間と発達との関連 |
| 鬼藤 明仁 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | ものづくりの学習における動機づけの分析 －学習の有効性認知に着目して－ |
| 厚東 芳樹 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 小学校体育授業における教師の反省的実践のあり方に関する実証的研究 －授業に対する反省的思考と「出来事」への気づきとの関係について－ |

〔論文博士〕

| 氏名 | 学位の種類 | 授与年月日 | 論文題目 |
|---------------|---------------|----------|---|
| 名古屋 恒彦 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 戦後知的障害教育における生活中心教育の教育課程及び指導法の変遷に関する研究 |
| 西山 修 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 保育内容「人間関係」に係わる保育者の効力感と自我同一性の形成に関する研究 |
| 足立 正 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 幼児期における蹴動作の発現及び発達に関する研究 |
| 金 恩英 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | Social facilitation and error monitoring : an ERP study in children (社会的促進とエラーモニタリング :子どもを対象にした事象関連電位研究) |
| 太田 正己 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 障害児教育現場における授業研究法の実証的研究 －授業改善のための授業批評法の開発－ |
| 室谷 茂 | 博士 (学校教育学) | H19.3.27 | 国名と地名からみたアジア文化地域の考察とその比較研究 |
| SANTI IRAWATI | 博士 (学術) | H19.3.27 | Non-commutative Valuation Rings and Their Global Theories (非可換付値環とその大域理論) |

— 学 事 —

○平成18年度大学院学校教育研究科学学位記授与者数等

(平成19年3月23日)

| 専攻・コース | 学位記授与者数 人 |
|------------------------|--------------|
| 学校教育専攻 | |
| 教育コミュニケーションコース | |
| 昼間クラス | 14 |
| スクールリーダーコース | 14 |
| 精神・施設コース (教育方法コース) | |
| 昼間クラス | 19 |
| 生徒指導実践コース (生徒指導コース) | |
| 昼間クラス | 9 |
| 夜間クラス | 8 |
| 夜間クラス | 1 |
| 幼年教育コース | 15 |
| 昼間クラス | 6 |
| 夜間クラス | 9 |
| 学校心理コース | 20 |
| 昼間クラス | 16 |
| 夜間クラス | 4 |
| 教育臨床心理コース | 41 |
| 昼間クラス | 25 |
| 夜間クラス | 16 |
| 小 計 | 132 |
| 特別支援教育専攻 | 27 |
| 教科・領域教育専攻 | |
| 言語系コース | 26 |
| 昼間クラス | 24 |
| 夜間クラス | 2 |
| 社会系コース | 36 |
| 昼間クラス | 33 |
| 夜間クラス | 3 |
| 自然系コース | |
| 昼間クラス | 20 |
| 芸術系コース | |
| 昼間クラス | 24 |
| 生活・健康系コース | 14 |
| 昼間クラス | 8 |
| 夜間クラス | 6 |
| 総合学習系コース | 20 |
| 昼間クラス | 16 |
| 夜間クラス | 4 |
| 小 計 | 140 |
| 合 計 | 299 |

学位記授与者の都道府県別内訳（本籍地別）

| 都道府県 | 学位記授与者数 人 | 都道府県 | 学位記授与者数 人 |
|------|--------------|------|--------------|
| 北海道 | | 京都 | 9 |
| 青森 | | 大阪 | 33 |
| 岩手 | 2 | 兵庫 | 110 |
| 宮城 | 1 | 奈良 | 2 |
| 秋田 | 1 | 和歌山 | 6 |
| 山形 | | 鳥取 | 8 |
| 福島 | | 島根 | 4 |
| 茨城 | | 岡山 | 9 |
| 栃木 | | 広島 | 7 |
| 群馬 | | 山口 | 2 |
| 埼玉 | 4 | 徳島 | 2 |
| 千葉 | 2 | 香川 | 3 |
| 東京 | 3 | 愛媛 | 9 |
| 神奈川 | 4 | 高知 | 3 |
| 新潟 | 2 | 福岡 | 6 |
| 富山 | 2 | 佐賀 | 1 |
| 石川 | 1 | 長崎 | 3 |
| 福井 | 3 | 熊本 | 4 |
| 山梨 | | 大分 | 4 |
| 長野 | | 宮崎 | 3 |
| 岐阜 | 6 | 鹿児島 | 4 |
| 静岡 | 6 | 沖縄 | 4 |
| 愛知 | 7 | 外国 | 8 |
| 三重 | 3 | | |
| 滋賀 | 8 | 合計 | 299 |

○平成18年度学校教育学部卒業証書・学位記授与者数等

(平成19年3月23日)

| 専修・専修コース | | 卒業者数 |
|-----------|-----------|------|
| 学校教育専修 | 学校教育系コース | 21 |
| | 幼年教育系コース | 22 |
| | 教育臨床系コース | 18 |
| | 小計 | 61 |
| 教科・領域教育専修 | 言語系コース | 19 |
| | 社会系コース | 16 |
| | 自然系コース | 30 |
| | 芸術系コース | 16 |
| | 生活・健康系コース | 28 |
| | 総合学習系コース | 9 |
| | 小計 | 118 |
| 合計 | 179 | |

学位記授与者の都道府県別内訳（本籍地別）

| 都道府県 | 学位記授与者数 | 都道府県 | 学位記授与者数 |
|------|---------|------|---------|
| | 人 | | 人 |
| 北海道 | | 京都 | 7 |
| 青森 | | 大阪 | 9 |
| 岩手 | | 兵庫 | 90 |
| 宮城 | | 奈良 | 3 |
| 秋田 | | 和歌山 | 1 |
| 山形 | 1 | 鳥取 | 4 |
| 福島 | 1 | 島根 | 9 |
| 茨城 | | 岡山 | 8 |
| 栃木 | | 広島 | 2 |
| 群馬 | | 山口 | 4 |
| 埼玉 | | 徳島 | 3 |
| 千葉 | | 香川 | 2 |
| 東京 | 3 | 愛媛 | 1 |
| 神奈川 | | 高知 | |
| 新潟 | | 福岡 | 2 |
| 富山 | 1 | 佐賀 | |
| 石川 | | 長崎 | 7 |
| 福井 | 2 | 熊本 | 1 |
| 山梨 | | 大分 | 1 |
| 長野 | | 宮崎 | 2 |
| 岐阜 | | 鹿児島 | 3 |
| 静岡 | 2 | 沖縄 | 1 |
| 愛知 | | 外国 | 3 |
| 三重 | 3 | | |
| 滋賀 | 3 | 合計 | 179 |

○平成18年度附属学校園の卒業（修了）者数

| 区分 | 附属小学校 | | 附属中学校 | | 附属幼稚園 | |
|----------|-------|-----|-------|------|-------|-----|
| | 男子 | 計 | 男子 | 計 | 男子 | 計 |
| 卒業（修了）者数 | 33人 | | 57人 | | 33人 | |
| | 女子46人 | 79人 | 女子48人 | 105人 | 女子23人 | 56人 |

○平成19年度大学院学校教育研究科（修士課程）第2次募集入学者選抜試験

平成19年度大学院第2次募集入学者選抜試験を3月11日(日)に実施し、3月20日(火)に合格者を発表した。合格者数等は次のとおりである。

| 専攻・コース | | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|----------------|---------------------|-------|------|----------|----------|----------|
| | | | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 学校教育学 専攻 | 学校心理学コース | 昼間クラス | 若干人 | 1 | 1 | 0 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 1 | 0 | 0 |
| 教科・領域 教育学専攻 | 言語系コース | 昼間クラス | 若干人 | 3 | 2 | 1 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 5 (4) | 5 (4) | 5 (4) |
| | 社会系コース | 昼間クラス | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| | 自然系コース | 昼間クラス | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| | 芸術系コース | 昼間クラス | 若干人 | 3 | 2 | 2 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 2 | 1 | 1 |
| | 生活・健康系・総合内容系 コース | 昼間クラス | 若干人 | 2 | 1 | 1 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 1 | 1 | 1 |
| 学校指導職専攻 | | | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| 教育実践 高度化専攻 | 授業実践リーダーコース | 昼間クラス | 10 | 1 (1) | 1 (1) | 1 (1) |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| | 心の教育実践コース | 昼間クラス | 若干人 | 2 | 2 | 2 |
| | | 夜間クラス | 若干人 | 2 (2) | 2 (2) | 2 (2) |
| | 小学校教員養成特別コース | | 若干人 | 7 | 7 | 3 |
| 合 計 | | | 10 | 30 (7) | 25 (7) | 19 (7) |

(注) () 内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)を内数で示す。

○平成19年度学校教育学部入学者選抜試験

平成19年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験<前期日程>を2月25日(日)・26日(月)、私費外国人留学生特別選抜試験を2月27日(火)に実施し、それらの合格者の発表を3月6日(火)に行った。

また、同<後期日程>を3月12日(月)に実施し、3月20日(火)に合格者を発表した。

合格者数等は、次のとおりである。

| | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|--------------------------|----------|----------|---------|
| 個別学力検査等入学者選抜試験 <前期日程> | 人 229 | 人 199 | 人 92 |
| 個別学力検査等入学者選抜試験 <後期日程> | 327 | 133 | 33 |
| 私費外国人留学生特別選抜試験 | 7 | 4 | 2 |

— 人 事 —

○人事異動

(役職者)

| 年月日 | 発令事項 | 職名等 | 氏名 | 備考 |
|-----------|------|--------------------------|--------|------------------|
| 19. 3. 31 | 免 | 学校教育学専攻長 | 古川 雅文 | |
| 19. 4. 1 | 命 | 学校教育学専攻長 | 杉尾 宏 | 任期：平成20年3月31日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学校指導職専攻長 教育実践高度化専攻長 | 加治佐 哲也 | 任期：平成20年3月31日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 発達心理臨床研究センター長 | 市井 雅哉 | 任期：平成21年3月31日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 教育・社会調査研究センター長 | 勝野 眞吾 | 任期：平成19年11月30日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 教育実践コラボレーションセンター長 | 大辻 裕彦 | 任期：平成20年3月31日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 保健管理センター所長 | 細澤 仁 | 任期：平成21年3月31日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 情報処理センター長 | 尾關 徹 | 任期：平成21年3月31日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学長特別補佐 (大学広報担当) | 藤井 德行 | 任期：平成19年11月30日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学長特別補佐 (現職教員・同窓会・社会連携担当) | 田中 雅和 | 任期：平成19年11月30日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学長特別補佐 (国際交流担当) | 中岡 義介 | 任期：平成19年11月30日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学長特別補佐 (学生支援担当) | 中村 哲 | 任期：平成19年11月30日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学長特別補佐 (附属学校園担当) | 松村 京子 | 任期：平成19年11月30日まで |
| 19. 4. 1 | 命 | 学長特別補佐 (新専攻担当) | 加治佐 哲也 | 任期：平成19年11月30日まで |

(大学院等)

| 年月日 | 発令事項 | 新職名等 | 氏名 | 旧職名等 |
|-----------|------|------------------|--------|-----------------|
| 19. 3. 31 | 定年退職 | | 正司 和彦 | 教授 (基礎教育学系) |
| 19. 3. 31 | 定年退職 | | 平田 早苗 | 教授 (臨床・健康教育学系) |
| 19. 3. 31 | 定年退職 | | 玉井 輝雄 | 教授 (自然・生活教育学系) |
| 19. 3. 31 | 定年退職 | | 山野 惟夫 | 教授 (自然・生活教育学系) |
| 19. 3. 31 | 定年退職 | | 笹山 幸徳 | 教授 (体育・芸術教育学系) |
| 19. 3. 31 | 定年退職 | 特任教授 (体育・芸術教育学系) | 千駄 忠至 | 教授 (体育・芸術教育学系) |
| 19. 3. 31 | 定年退職 | | 鈴木 寛 | 教授 (体育・芸術教育学系) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 早稲田大学 | 佐々木 和義 | 教授 (臨床・健康教育学系) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 神戸大学 | 坂本 美紀 | 助教授 (臨床・健康教育学系) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 愛知教育大学 | 高橋 美由紀 | 助教授 (社会・言語教育学系) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 椋山女学園大学 | 安立 奈歩 | 助手 (臨床・健康教育学系) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 就実大学 | 棚田 真由美 | 助手 (社会・言語教育学系) |

| | | | | |
|----------|------|-------------------------------|--------------------|-----------------|
| 19. 4. 1 | 昇任 | 教 授 (臨床・健康教育学系) | 芝 田 裕 一 | 助教授 (臨床・健康教育学系) |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 教 授 (臨床・健康教育学系) | 細 澤 仁 | 講 師 (臨床・健康教育学系) |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 教 授 (自然・生活教育学系) | 小 山 英 樹 | 助教授 (自然・生活教育学系) |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 准教授 (自然・生活教育学系) | 前 田 智 子 | 助 手 (自然・生活教育学系) |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教 授 (基礎教育学系) | 浅 野 良 一 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教 授 (臨床・健康教育学系) | 鬼 頭 英 明 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 准教授 (基礎教育学系) | 淀 澤 勝 治 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 准教授 (臨床・健康教育学系) | 有 園 博 子 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 准教授 (社会・言語教育学系) | 吉 水 裕 也 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 特任教授 (基礎教育学系) | YAGI DARRYL TAKIZO | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 特任教授 (基礎教育学系) | 渡 邊 規 矩 郎 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 特任教授 (基礎教育学系) | 小 寺 正 一 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 特任教授 (体育・芸術教育学系) | 千 駄 忠 至 | 教 授 (体育・芸術教育学系) |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教育実践コラボレーションセンター 上級連携推進研究員 | 大 辻 裕 彦 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教育実践コラボレーションセンター 連携推進研究員 | 田 畑 八 郎 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教育実践コラボレーションセンター 連携推進研究員 | 一 井 教 男 | |
| 19. 4. 1 | 任期更新 | 特任教授 (社会・言語教育学系) | 中 洲 正 堯 | |
| 19. 4. 1 | 所属換 | 教 授 (臨床・健康教育学系) | 新 井 肇 | 教 授 (基礎教育学系) |

(附属学校)

| 年月日 | 発令事項 | 新 職 名 等 | 氏 名 | 旧 職 名 等 |
|-----------|------|------------------|-----------|---------------|
| 19. 3. 31 | 退職 | 明石市立大観小学校校長 | 古 田 猛 志 | 附属小学校教頭 (副校長) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 明石市立二見小学校校長 | 森 本 眞 一 | 附属中学校教頭 (副校長) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 姫路市立城東幼稚園園長 | 高 橋 一 枝 | 附属幼稚園教頭 (副園長) |
| 19. 3. 31 | 退職 | 丹波市立遠阪小学校教諭 | 飯 谷 敏 子 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 三木市立別所小学校教諭 | 勝 部 浩 子 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 愛媛県今治市立桜井小学校教諭 | 今 井 優 子 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 朝来市立生野小学校教諭 | 大 友 隆 男 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 岡山県教育庁津山教育事務所主任 | 高 岡 昌 司 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 西宮市立鳴尾南中学校教諭 | 須 原 友 紀 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 鹿児島県十島村立悪石島小学校教諭 | 新 名 主 洋 一 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 宝塚市立安倉小学校教諭 | 田 中 麻 衣 子 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 明石市立高丘西小学校教諭 | 大 谷 伸 也 | 附属小学校教諭 |

| | | | | |
|-----------|------|-----------------|---------|--------------------|
| 19. 3. 31 | 退職 | 明石市立貴崎小学校教諭 | 河 西 利 枝 | 附属中学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 加西市立加西特別支援学校教諭 | 中 村 次 郎 | 附属中学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 鹿児島県和泊町立和泊中学校教諭 | 野 口 豪 | 附属中学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 神戸市立大沢幼稚園教諭 | 谷 石 宏 子 | 附属幼稚園教諭 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 明石市立鳥羽幼稚園教諭 | 小 尾 麻希子 | 附属幼稚園教諭 |
| 19. 3. 31 | 任期満了 | | 小 河 基 子 | 附属小学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 任期満了 | | 幸 得 仁 美 | 附属中学校教諭 |
| 19. 3. 31 | 任期満了 | | 宮 脇 由 実 | 附属幼稚園養護教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教頭 (副校長) | 坂 口 正 文 | 明石市立花園小学校教頭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属中学校教頭 (副校長) | 白 石 守 | 兵庫県立教育研修所主任指導主事 |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 附属幼稚園教頭 (副園長) | 岸 本 美保子 | 附属幼稚園教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 長谷川 浩 一 | 神戸大学発達科学部附属明石小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 永 倉 仁 貴 | 鹿児島県枕崎市立立神小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 安 井 理 人 | 明石市立中崎小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 白 石 和 美 | 愛媛県今治市立弓削小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 新 宮 真 也 | 岡山県鏡野町立南小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 小 寺 研 | 明石市立二見小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 宮 本 久 子 | 宝塚市立売布小学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 藤 本 将 宏 | 三木市立三木中学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属小学校教諭 | 井 筒 かおり | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属中学校教諭 | 荒 金 孝 明 | 宝塚市立高司中学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属中学校教諭 | 東 隆 一 | 鹿児島県出水市立高尾野中学校教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属中学校教諭 | 相 川 美和子 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属幼稚園教諭 | 藤 原 照 美 | 神戸市立いかわ幼稚園教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属幼稚園教諭 | 由 谷 久美子 | 明石市立花園幼稚園教諭 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 附属幼稚園教諭 | 壺 井 ゆき子 | |

(事務局)

| 年月日 | 発令事項 | 新 職 名 等 | 氏 名 | 旧 職 名 等 |
|-----------|--------|-------------------------------|---------|-------------------------------|
| 19. 3. 31 | 退職 | 名古屋工業大学人事課長 | 舟 本 幸 福 | 総務部総務課長 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 国立民族学博物館管理部財務課長 | 森 原 良 治 | 総務部財務課長 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 小樽商科大学国際企画課長 | 小 泉 信 隆 | 教育研究支援部教育支援課長 |
| 19. 3. 31 | 退職 | | 小 嶋 國 裕 | 教育研究支援部入試課長 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 神戸大学医学部経営管理課課長補佐 | 須 藤 賢 治 | 施設管理課課長補佐 |
| 19. 3. 31 | 退職 | 大阪大学基礎工学研究科事務長補佐 | 高須賀 清 | 学生支援課課長補佐 |
| 19. 3. 31 | 在籍出向終了 | 神戸大学国際部国際企画課課長補佐 | 荻 阪 政 雄 | 総務課秘書室長 |
| 19. 3. 31 | 在籍出向終了 | 神戸大学財務部財務課資金管理室支出係長 | 田 村 優 | 財務課財務企画チーム主査 |
| 19. 3. 31 | 在籍出向終了 | 神戸大学学務部共通教育課教務係長 | 松 本 亘 | 教育支援課連合大学院事務室主査 |
| 19. 3. 31 | 在籍出向終了 | 神戸大学医学部総務課庶務第一係主任 | 板 垣 季 昭 | 企画課企画・評価チーム主任 |
| 19. 3. 31 | 在籍出向終了 | 神戸大学医学部保健学科事務室教務学生係主任 | 中 宏 樹 | 入試課入試チーム主任 |
| 19. 3. 31 | 任期満了 | | 高 下 久美子 | 教育支援課教務チーム事務補佐員 |
| 19. 3. 31 | 任期満了 | | 竹 内 起代子 | 入試課入試チーム事務補佐員 |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 総務課秘書室長 (命) 総務課課長補佐 | 松 本 隆 明 | 研究支援課課長補佐 (命) 山国地区事務室長 |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 企画課広報・社会連携事務室長 (命) 企画課課長補佐 | 岩 佐 文 雄 | 企画課課長補佐 (命) 企画課広報・社会連携事務室長 |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 研究支援課課長補佐 (命) 山国地区事務室長 | 森 本 隆 博 | 教育支援課教務チーム主査 |
| 19. 4. 1 | 昇任 | 企画課企画・評価チーム主任 | 藤 井 三香子 | 研究支援課研究支援チーム課員 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 総務部総務課長 | 桑 原 豊 | 滋賀大学人事労務課長 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 総務部財務課長 | 黒 嶋 雄 二 | 神戸大学財務部資金管理課長 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教育研究支援部教育支援課長 | 本 田 史 子 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程第一係長 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教育研究支援部入試課長 | 菅 野 敬 也 | 弓削商船高等専門学校学生課長 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 施設管理課施設マネジメント主幹 | 田 中 清 志 | 神戸大学医学部経営管理課課長補佐 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 総務課人事・労務チーム課員 | 藤 田 かおり | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 研究支援課情報システムチーム課員 | 井 上 靖 司 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 総務課事業支援協力員 | 高 見 勉 | |
| 19. 4. 1 | 採用 | 教育支援課事業支援協力員 | 西 森 宗八郎 | 教育支援課事務補佐員 |
| 19. 4. 1 | 採用 | 入試課入試チーム事務補佐員 | 廣 田 麻 理 | |
| 19. 4. 1 | 在籍出向受入 | 財務課財務企画チーム主査 | 池 田 幸 治 | 神戸大学財務部財務課予算第一係主任 |
| 19. 4. 1 | 在籍出向受入 | 教育支援課連合大学院事務室主査 | 藤 中 亮 | 神戸大学学務部入試課入学試験第一係主任 |
| 19. 4. 1 | 在籍出向受入 | 学生支援課留学生・国際交流チーム主査 | 中 嶋 貴 志 | 神戸大学工学部教務学生係主任 |

| | | | | |
|----------|--------|-------------------|--------|----------------------|
| 19. 4. 1 | 在籍出向受入 | 入試課入試チーム主任 | 楞野 哲也 | 神戸大学研究推進部研究推進課研究助成係員 |
| 19. 4. 1 | 命 | (命) 学生支援課就職支援事務室長 | 高宮 進 | (命) 学生支援課就職支援室長 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 企画課広報・社会連携事務室主査 | 中西 あつ子 | 学生支援課留学生・国際交流チーム主査 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 教育支援課教務チーム主査 | 藤木 裕一 | 企画課広報・社会連携事務室主査 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 研究支援課研究支援チーム主査 | 谷林 径明 | 学生支援課学生支援チーム主査 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 研究支援課山国地区事務室主査 | 篠原 元子 | 学術情報課学術情報チーム主査 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 入試課入試チーム主査 | 早崎 邦夫 | 研究支援課研究支援チーム主査 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 財務課契約チーム主任 | 三原 敬一 | 入試課入試チーム主任 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 学生支援課就職支援事務室主任 | 白川 真由美 | 研究支援課山国地区事務室主任 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 学術情報課学術情報チーム主任 | 河村 礼子 | 学生支援課就職支援室主任 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 総務課秘書室課員 | 佐田野 佑介 | 研究支援課情報システムチーム課員 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 財務課経理チーム課員 | 細見 真梨子 | 総務課人事・労務チーム課員 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 研究支援課研究支援チーム課員 | 大角 真代 | 財務課経理チーム課員 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 学生支援課学生支援チーム課員 | 井神 朋宏 | 財務課契約チーム課員 |
| 19. 4. 1 | 配置換 | 学生支援課学生支援チーム課員 | 川崎 布美子 | 総務課秘書室課員 |

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第29回 平成19年 3月 2日 (金)

(議題)

- 1 平成19年度予算実施計画について
- 2 新構想の教員養成大学が教職大学院を設置することについて
- 3 学校教育学部各コースの責任者の取扱いについて
- 4 兵庫県三木市及び多可町との包括連携協定の締結について

第30回 平成19年 3月11日 (日)

(議題)

- 1 平成19年度予算実施計画について
- 2 教育研究充実積立金執行計画について
- 3 国立大学法人兵庫教育大学役員報酬規程等の一部改正について

第31回 平成19年 3月14日 (水)

(議題)

- 1 学則の一部改正について
- 2 平成19年度年度計画について
- 3 教職員の業績評価制度について
- 4 事務職員大学院研修実施要項について
- 5 附属学校就学指導委員会の設置について
- 6 教員の非違行為に係る懲戒処分について

○国立大学法人兵庫教育大学経営協議会

第 5 回 平成19年 3月 9日 (金)

(議題)

- 1 平成19年度年度計画について
- 2 平成19年度予算実施計画について
- 3 教育研究充実積立金執行計画について
- 4 教職員の業績評価制度について
- 5 給与・財務関係規程等の改正について
- 6 非常勤職員の職種の新設について

○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第13回 平成19年 3月14日 (水)

(議題)

- 1 新専攻の設置等に伴う学則等の改正について
- 2 平成19年度年度計画について
- 3 教職員の業績評価制度について
- 4 経営協議会学外委員について
- 5 教育実践コラボレーションセンター長候補者について
- 6 教員の選考について
- 7 教員の選考開始等について
- 8 教員の処分案に対する意見陳述について
- 9 兵庫教育大学における公正研究遂行のための基本方針の制定について
- 10 兵庫教育大学における学術研究活動の不正行為に関する取扱規程の制定について
- 11 事務職員大学院研修実施要項について
- 12 受託研究の受入れについて
- 13 内地研究員の受入れについて

第14回 平成19年 3月20日 (火)

(議題)

- 1 教員の所属学系の異動について
- 2 兵庫教育大学学校教育学部入学試験委員会規程の一部改正について
- 3 教員組織の英文表記について

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授会

第13回 平成19年 3月14日 (水)

(議題)

- 1 平成18年度修了の認定について
- 2 学位規則等の一部改正等について
- 3 平成19年度授業科目担当教員の変更等について
- 4 転クラスについて
- 5 学籍異動について
- 6 長期履修学生について
- 7 交流協定に基づく単位認定について
- 8 研究生の研究期間の延長について
- 9 研究生の入学について
- 10 平成19年度既修得単位認定に係る日程について

第14回 平成19年 3月20日 (火)

(議題)

- 1 平成19年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔第2次募集〕の合否判定及び長期履修学生(夜間クラス)の許可について

○兵庫教育大学学校教育学部教授会

第11回 平成19年 3月5日 (月)

(議題)

- 1 平成19年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《前期日程》の合否判定について
- 2 平成19年度学校教育学部私費外国人留学生特別選抜試験の合否判定について

第12回 平成19年 3月14日 (水)

(議題)

- 1 平成18年度卒業の認定について
- 2 学校教育学部履修規程の一部改正について
- 3 平成19年度授業科目担当教員の変更等について
- 4 学生の学籍異動について
- 5 特別聴講学生の入学について
- 6 科目等履修生の入学について

第13回 平成19年 3月20日 (火)

(議題)

- 1 平成19年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《後期日程》の合否判定について
- 2 平成19年度追加合格者の決定方法について

○連合学校教育学研究科教授会

第4回

(議題)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否について
- 3 論文提出による博士の学位論文受理について
- 4 諸規則の改正及び制定について

- 5 研究科教員資格審査に係る各連合講座の判定基準の改正について

- 6 研究科教員資格審査日程について

- 7 博士候補認定試験の実施について

- 8 平成19年度予算配分について

- 9 研究科研究生の入学について

○小学校英語活動地域サポート事業フォーラム

「小学校と連携した英語活動の教員研修のあり方—各学校の特性を活かして—」の開催

3月4日(日)、兵庫県私学会館において、本学主催で小学校英語活動地域サポート事業フォーラム「小学校と連携した英語活動の教員研修のあり方—各学校の特性を活かして—」を開催した。

本フォーラムは、平成18年度文部科学省より委嘱を受けた「小学校英語活動地域サポート事業」の一環として行うもので、全国各地から、英語活動に取り組む小中学校教員及び教育委員会関係者、小学校の英語活動について本学と同様の取組を行う大学関係者等153名が参加した。

午前中、高橋美由紀助教授が、事業の一環として行った小学校教員英語研修等、1年間の取組の成果報告を行ったのに引き続き、午後には各テーマに基づいた分科会が開催され、本学担当教員及び訪問研修を実施した小学校や教育委員会の担当者から、取組の紹介が行われた。

最後には、「小学校英語活動の到達点と今後の方向性」をテーマにしたシンポジウムが行われ、参加者を交えた活発な意見交換が行われるなど盛会のうちに終了した。



○学校教育研究センタープロジェクト研究発表会 及び特別講演会の開催

3月19日（月），附属図書館ライブラリーホールにおいて，昨年度から開始された学校教育研究センタープロジェクト研究（3年次計画）の平成18年度第2回研究発表会及び特別講演会を開催した。

原田センター長の挨拶の後，プロジェクト研究発表会が行われ，学校問題解決研究部門，情報メディア教育研究部門及び実地教育支援研究部門から，それぞれの研究課題に基づいて研究発表が行われた。引き続き，東京学芸大学教育実践研究支援センター教授 小林正幸 氏による「不登校の予防および対応を成功事例から検討するー学校カウンセリングの実践をとおしてー」と題した特別講演が行われた。

○平成18年度学生表彰受賞者

3月23日（金），谷口賞及び兵庫教育大学学生表彰規程に基づき学生表彰が行われた。

受賞者は次のとおりである。

・谷口賞

| | |
|-----------|--------|
| 学校教育系コース | 山下 恵利佳 |
| 幼年教育系コース | 伊東 直美 |
| 教育臨床系コース | 木下 由賀利 |
| 言語系コース | 片山 知奈美 |
| 社会系コース | 伊藤 友佑 |
| 自然系コース | 大庭 史恵 |
| 芸術系コース | 東田 典子 |
| 生活・健康系コース | 浅井 恵美 |
| 総合学習系コース | 大場 裕太 |

・学生表彰

| | | |
|---------|-----------|-------|
| スポーツ奨励賞 | 男子バレーボール部 | 池田 光浩 |
| 文化芸術奨励賞 | 教育臨床系コース | 木口 範彦 |
| 〃 | 教育臨床系コース | 岡林 亜美 |



学位記授与式に引き続き行われた谷口賞表彰

○退職時の兵庫教育大学永年勤続者等の表彰

平成19年3月31日付け退職の正司和彦教授，鈴木寛教授，千駄忠至教授及び小嶋國裕入試課長に対し，退職時における兵庫教育大学永年勤続者表彰として学長から表彰状の授与及び記念品の贈呈が行われた。



○兵庫教育大学神戸サテライトの移転

4月から神戸サテライトをハーバーランドの神戸情報文化ビルに移転し、よりよい学びの環境を整えるため施設・設備を充実させた。

夜間クラスの入学者は、仕事と学業を両立しやすくするために、3年間かけて学ぶことができる「長期履修学生制度」を活用でき、個人の事情に応じゆったりとしたペースで授業や研究指導が受けられるなど、働きながら学位を取得する学生を強気にバックアップするものである。

【新住所】 〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1-5-7
(神戸情報文化ビル3階)

【電話番号】 078-361-5023 (サテライト事務室)
【FAX番号】 078-361-5024 (サテライト事務室)



○兵庫教育大学教育実践コラボレーションセンターの設置

4月2日(月)から、自然、生活・健康棟2階に新専攻・コースにおける特色ある実習を円滑に、かつ効果的に実施するため、学校現場との連絡調整などを行うことを主な目的として、兵庫教育大学教育実践コラボレーションセンターを設置した。

本センターには、教育長や公立の小・中学校長などを歴任したセンター長を初め、私立大学で教員養成GP委員長、教育委員会指導主事、公立の小学校長などを歴任したコーディネーターなど、学校現場において豊かな経験と実績を持つスタッフを複数配置し、今後、本学と連携協力校を結ぶ本センターを中核として、学校教育における、より高度な専門性と実践的な指導力を持った教員の養成が期待される。

平成19年度公開講座のご案内

本学の教育・研究活動の成果を公開し、社会人の教養を高めることを目的として、今年度は次のとおり14講座を開講します。

| | |
|---|---|
| <p>和文化体験講座 一居合道の理念と技法一 (募集人数：6～10人(※))</p> <p>*開設期間：5月9日～6月27日 19：00～20：30(水曜, 1.5H, 8回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学武道場 *受講対象者：市民一般(中学生以上) *受講料：6,900円</p> | <p>暮らしの中の有害化学物質を知ろう (募集人数：20人)</p> <p>*開設期間：7月7日～7月21日 13：30～17：00(土曜, 3.5H, 3回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学神戸サテライト *受講対象者：市民一般 *受講料：6,700円</p> |
| <p>人間・こころ・知 一常識を見つめなおす一 (募集人数：20人)</p> <p>*開設期間：5月12日～6月30日 13：30～15：00(土曜, 1.5H, 8回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学神戸サテライト *受講対象者：市民一般 *受講料：6,900円</p> | <p>簡単ロボット製作で学ぶ コンピュータの仕組みと制御 (募集人数：5～6人(※))</p> <p>*開設期間：7月30日～8月1日 13：30～16：30(連続3日間, 3H, 3回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学自然, 生活・健康棟 *受講対象者：市民一般(Windowsの経験がある中学生以上) *受講料：6,200円</p> |
| <p>楽しくてうまくなるテニス教室 (募集人数：20人)</p> <p>*開設期間：I期：5月12日～6月23日 II期：9月1日～10月13日 9：00～11：30(土曜, 2.5H, 14回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学硬式テニスコート *受講対象者：市民一般(初心者, 初級者) *受講料：11,500円</p> | <p>絵画制作 (募集人数：15人)</p> <p>*開設期間：8月3日～8月6日 13：00～18：00(連続4日間, 5H, 4回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学芸術棟 *受講対象者：市民一般 *受講料：8,500円</p> |
| <p>地域理解のための地図作成の基礎技術 一コンピュータ・マッピングによる主題図作成一 (募集人数：8人)</p> <p>*開設期間：5月21日～5月25日 18：00～21：00(連続5日間, 3H, 5回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学情報教育実習室1 *受講対象者：市民一般(PCの基本操作が出来ること) *受講料：7,500円</p> | <p>ピアノを弾こう！ (募集人数：10人)</p> <p>*開設期間：9月15日～10月27日 10：00～13：00(土曜, 3H, 5回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学芸術棟 *受講対象者：市民一般(18才以上, 音大生・音大出身者を除く) *受講料：7,500円</p> |
| <p>ベートーヴェンの「運命」を振る！ (募集人数：8～12人(※))</p> <p>*開設期間：6月23日～7月7日 14：00～16：00(土曜, 2H, 3回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学芸術棟 *受講対象者：市民一般, 音楽愛好家(中学生以上) *受講料：5,300円</p> | <p>ガムランはともだち (募集人数：6～15人(※))</p> <p>*開設期間：9月15日～10月27日 13：30～16：30(土曜, 3H, 6回)</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学芸術棟 *受講対象者：市民一般 *受講料：8,100円</p> |

※ 最少開講人数に満たない場合は開講いたしません。

| | |
|---|--|
| <p>身近な言葉を探る —地域と時間の観点から— (募集人数：6～20人※)</p> <p>*開設期間：10月2日～11月6日 19：00～21：00（火曜，2H，6回） *開設場所：小野市「コミュニティセンター小野」 *受講対象者：市民一般(高校生以上) *受講料：6,900円</p> | <p>心のバリアフリーは 障害の正しい理解から 【ひょうご講座（学外科目）として開講】 (募集人数：40人)</p> <p>*開設期間：5月12日～7月7日 13：30～15：00（土曜，1.5H，9回） *開設場所：兵庫県立神戸学習プラザ *受講対象者：市民一般 *受講料：12,000円</p> |
| <p>思春期青年期の「こころ」を考える (募集人数：11～20人※)</p> <p>*開設期間：未定 *開設期間：未定 *開設場所：兵庫教育大学神戸サテライト *受講対象者：市民一般 *受講料：7,500円</p> | <p>理論を学んで、現代社会を読み解く 【ひょうご講座（学外科目）として開講】 (募集人数：40人)</p> <p>*開設期間：5月16日～7月4日 18：30～20：00（水曜，1.5H，8回） *開設場所：兵庫県立神戸学習プラザ *受講対象者：市民一般 *受講料：10,000円</p> |

※ 最少開講人数に満たない場合は開講いたしません。

－ 3 月 主 要 日 誌 －

| 月 日 | 事 項 |
|---------|--|
| 3月2日(金) | 役員会 (第29回) 教務委員会 (第13回) 学部入学試験委員会 (第7回) |
| 4日(日) | 小学校英語活動地域サポート事業フォーラム「小学校と連携した英語活動の教員研修のあり方ー各学校の特性を活かしてー」 |
| 5日(月) | 学部教授会 (第11回) |
| 6日(火) | 学部前期日程入学者選抜試験等合格者発表 兵庫教育大学三十年史編纂専門委員会 財務委員会 (第5回) 学生寄宿舎棟長会 |
| 7日(水) | NANAつくす運営会議 (第8回) |
| 8日(木) | 連合学校教育学研究科教授会(第4回) リエゾンオフィス「研修プログラム」チーム会議 (第3回) |
| 9日(金) | 経営協議会 (第5回) 三教育機関共同研究推進会議 |
| 10日(土) | 附属図書館土曜会館終了 |
| 11日(日) | 役員会 (第30回) 大学院第2次募集入学者選抜試験 附属図書館日曜会館終了 |
| 12日(月) | 附属中学校卒業証書授与式 学部後期日程入学者選抜試験 |
| 13日(火) | 附属学校運営委員会 (第5回) 大学情報委員会 (第5回) |
| 14日(水) | 教育研究評議会 (第13回) 役員会 (第31回) 研究科教授会 (第13回) 学部教授会 (第12回) |
| 15日(木) | 大学院入学試験委員会 (第11回) 小学校英語活動地域サポート事業推進協議会 (第3回) 教育実践教材開発プロジェクト会議 附属図書館夜間会館終了 |
| 16日(金) | 附属幼稚園修了証書授与式 学部入学試験委員会 (第8回) 教務委員会 (第14回) |
| 19日(月) | 附属小学校卒業式 学校教育研究センタープロジェクト 研究発表会及び特別講演会 |
| 20日(火) | 教育研究評議会 (第14回) 研究科教授会 (第14回) 学部教授会 (第13回) |

| | |
|--------|---|
| | 研究推進委員会 (第5回) 学部後期日程入学者選抜試験合格者発表 大学院第2次募集入学者選抜試験合格者発表 附属幼稚園修了式 |
| 22日(木) | 学校教育研究センター運営会議 大学広報室運営会議 (第3回) 就職委員会 (第10回) 退職時の兵庫教育大学永年勤続者等の表彰式 リエゾンオフィス「研修プログラム」チーム学内委員会議 |
| 23日(金) | 大学院学校教育研究科学学位記授与式 学校教育学部学位記授与式 大学院学校教育研究科(夜間クラス)学位記授与式 谷口賞授与式 学生表彰式 附属小学校・中学校修了式 |
| 26日(月) | 教務委員会 (第15回) |
| 27日(火) | 社会連携委員会 (第7回) 連合学校教育学研究科学学位記授与式 兵庫教育大学三十周年史編集協力者会議 |
| 28日(水) | 評価委員会 (第7回) |
| 30日(金) | 附属図書館月末休館 |

編集発行 **兵庫教育大学総務部企画課**
〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
電話 (0795) 44-2334
<http://www.hyogo-u.ac.jp/>